

作成日：令和2年1月13日

医療機関：ブルーミントン動物病院（東京都杉並区）

担当獣医師：西村美知子

症例4

症例カテゴリー：腫瘍・免疫関連疾患

症例名：メラノーマ

使用製品：POC水 60ml/日以下 3ヶ月 ブルーシート併用なし

種類：ミニチュアダックス 年齢：13才3ヶ月 体重：5.8kg 性別：メス（避妊済み）

【具体的な症状と経過】

2019年3月、他院にて口唇と口腔内粘膜のメラノーマの疑いで麻酔下にてCT、MRI撮影し、細胞診も行う所で心肺機能に異常を起こし、細胞診は行えなかったとのことでした。検査所見からメラノーマの歯肉、歯根、またリンパ節の転移を疑う結果が出て、余命2カ月と宣告されたとのことでした。何か少しでもお家でできることはないかというご相談でしたので、POC療法をお勧めし、POC水とAca水、またブルーシートも処方しました。

初診時から9日目では腫瘍の縮小がみとめられましたが、Aca水はお家での噴霧は困難との事で病院来院時のみの噴霧となり、来院頻度も減ったので殆ど使われなくなりました。ブルーシートはできないということで、全く使用されませんでした。

5月前半くらいまではPOC水は1日60cc飲めており、腫瘍からの臭いもかなり軽減し、新たにできるところもあったが縮小する腫瘍も見られました。その後は元気で普通に楽しく過ごしているということで、POC水の投与も減り、腫瘍は大きくなっていました。6月前半に下顎リンパの明らかな腫大が見られてきましたが、6月後半まではとても元気に過ごしていました。

6月末に呼吸が速くなり肺への転移をみとめ、7月3日にご自宅でご残念ながら亡くなりました。

【POC水をご使用頂いた先生のご感想】

初診から数日の経過からは、POC水をしっかり飲ませ、Aca水をかけられ、ブルーシートを併用できていたら、もしかしたら縮小方向にもう少し持って行けたのではないかと思えた症例でした。

食事も偏食でしたので、なかなか難しい症例でしたが、食事と共にPOC水の投与を一所懸命工夫されながら日々共に過ごされ、ワンちゃんと飼い主様との関係が深く強くなり、いい時間が過ごせたのではないかと感じています。

【飼い主様の声】

3月末に余命2カ月と言われパニックになったが、POC療法を行うことで6月には旅行にも連れていきとても元気に楽しそうに過ごせたと、ギリギリまでいろんなものもおいしく食べられたりと、家で普通に過ごせたことや、長く一緒にいられたこと、生きられたこと、とても感謝しています。